

## 議 題 2

報道機関各位

記者発表資料  
平成18年8月10日(木)  
問い合わせ先：文化振興課  
担当：高橋 政博  
電話：829-1226  
内線：2811

### 第3回さいたま市スポーツ文学賞 授賞作品が決定しました

さいたま市では、文化芸術活動やスポーツが盛んな都市イメージを生かしながら、スポーツの感動を活字によって伝え、スポーツ文学という新たなジャンルの発展を目的として、スポーツをテーマとした作品を募集するスポーツ文学賞を実施しております。旧浦和市において平成6年度からスタートした事業であり、今回で7回目となります。今回は、ゼッターランド・ヨーコさん、水沼貴史さんを審査員に迎えスポーツエッセイ賞を新設しました。

募集した結果、全国・海外から327作品の応募があり、3回にわたる一次選考を経て、最終選考委員会で文学賞5作品、エッセイ賞4作品が選ばれました。

1 募集期間 平成17年7月より平成18年3月1日までの8ヶ月間

2 応募作品数 文学賞135編 エッセイ賞192編 計327編

3 最終選考委員会

(1) 文学賞 日 時 平成18年7月11日(火)14:00~15:30  
選考委員 磯貝 勝太郎、伊藤 桂一、大谷 羊太郎

(2) エッセイ賞 日 時 平成18年8月1日(火)13:00~14:00  
選考委員 ゼッターランド・ヨーコ 水沼貴史

4 賞

(1) 文学賞 大賞 (1名) 賞金100万円  
優秀賞 (2名) 賞金50万円  
佳作 (2名) 賞金30万円

(2) エッセイ賞 エッセイ賞 (1名) 賞金30万円  
優秀賞 (1名) 賞金10万円  
佳作 (2名) 賞金5万円

## 5 受賞作品及び講評

### (1) 文学賞

賞	作 品 名	筆名(本名)	テーマとなる スポーツ
大 賞	伴に走る	おいかわ あやこ 及 川 彩子	マラソン
優秀賞	夜の運動会	いわさき しげき 岩 崎 重樹	マラソン
優秀賞	二十番目の選手	おがわ さかえ 小 川 栄	野球
佳 作	走ること・抱きしめること	ゆうざ まもる 遊 座 守	陸上
佳 作	風	おおた みのる 太 田 実	剣道

### 総 評

ニューヨークシティマラソンに出場する自閉症のランナーを支えて伴走するボランティアの献身的な努力を描いた『伴に走る』が大賞を受賞した。また、惜しくも優秀賞となった『夜の運動会』は、文芸作品としての完成度が支持された。『二十番目の選手』は、野球を通して描かれたさわやかな青春小説。前回佳作に入賞した作者が再チャレンジし、一步前進した。佳作の『走ること・抱きしめること』は、若い書き手ながら繊細な文体と味のある文章で、高い評価を得た。『風』は、剣道を舞台としたエンターテインメント性溢れる作品で、その卓越した描写力には賞賛が贈られた。今回は、スポーツ文学賞にふさわしい秀作が揃っていた。

### 大賞作品評「伴に走る」

「記録でも、マラソンを走った回数のためでもない。「生きている事」と、「生きている意味」を感じるため」に走るのだという言葉は、スポーツに関係する全ての人に聞いてほしい言葉であり、本賞の趣旨にも合う。ニューヨークシティマラソンと伴走ボランティアという素材を、切れ味が良く無駄のない直線的な表現で、上手く仕上げている。感動の深い作品。

### 優秀賞作品評「夜の運動会」

短編小説として、実によく出来た作品。登場人物の設定も面白く、読みやすく、楽しい。ランナーの描写をして、風景描写の中に感情を描く文章の上手さは、感心させられる。印象に残る場面描写の中に、人生がしみじみと表れていて、スポーツも効果的に扱われている。

### 優秀賞作品評「二十番目の選手」

野球はチームスポーツだということが、登場人物を通してよくわかる。構成、ストーリー展開に無理が無く、若者たちの心情と行動が良く描けており、気持ちの良い読後感を与えてくれる、健康的で清潔な、よい作品である。

### 佳作作品評「走ること・抱きしめること」

一緒に走りながら身の上話をし、走ることにまつわる時間、そして人生との関連を、繊細な文体で描いている、ユニークで印象的な作品。文章には味があり、品があり、その文章の上手さは心憎い。小説の才能のあり、若い書き手としての作者の成長が楽しみな作品。

### 佳作作品評「風」

剣道について、しっかりとした経験と知識を持ち、描写力もある。全編に迫力がみなぎり、剣の修行の厳しさ、試合の激しさなどよく描けている。現代の軟弱な気風に一陣の風を送る作品。

## (2) エッセイ賞

賞	作 品 名	筆名(本名)	スポーツ
エッセイ賞	小笠原流武士道	おがさわら たけし 小笠原 健	剣道
優秀賞	還暦のフルマラソン	にしはら けんじ 西原 健次	マラソン
佳 作	されど校内マラソン大会	かんの 菅野 みさ子	マラソン
佳 作	キャッチボールやろう	おおした けいすけ 大下 圭介	野球

## 総 評

今回から創設したスポーツエッセイ賞は、剣道を舞台に人間としての成長を描いた『小笠原流武士道』が受賞した。また、優秀賞の『還暦のフルマラソン』は、一気に読ませるおもしろさと完成度の高さが評価された。佳作となった『されど校内マラソン大会』は、校内マラソン大会2連覇を目指す娘と父の絆を自然なタッチで描いた作品。また、もう一編は、日常生活の中に溶け込んだスポーツにスポットを当てた『キャッチボールやろう』が選出された。スポーツから得た経験やスポーツに対する思いなど、多くの作品が集まった中、初のスポーツエッセイ賞にふさわしい作品を選ぶことができた。

### エッセイ賞作品評「小笠原流武士道」

「気・剣・体」は「気」があって始めて「剣・体」がついてくる。その境地に行き着くまでのプロセスが、剣道を通してよく描かれている。それは、どんなスポーツにも共通することであり、一流のアスリートとして活躍した選考委員からも高い支持を得た。

優秀賞作品評「還暦のフルマラソン」

全体を通して読みやすく、おもしろい。文章構成もよく練られている。スポーツだけでなく、娘とのライバル関係など、ユニークではほえましい人間模様についてもよく描けている。

佳作作品評「されど校内マラソン大会」

難しい思春期でありながら、同じベクトルで一つの目標に向かって行く娘と父の関係がよく描かれている。親子の一体感と感動がある。

佳作作品評「キャッチボールやろう」

スポーツに対して自分がどう関わっているか、そこから何を得られるか、スポーツを続ける理由などを、素直に表現している。キャッチボールを通して、日常のリアルなコミュニケーションの大切さを描いた点が評価された。

6 授 賞 式

- (1) 日 時 平成18年8月25日(金) 13:00～
- (2) 会 場 浦和ロイヤルパインズホテル